



七松小学校 学校だより

平成28年度

3月号

尼崎市立七松小学校

学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



まとめの月です！

— 進学 進級に夢と希望をもって —



「暑さ寒さも彼岸まで」まだまだ寒さは厳しいですが、日差しが温かくなってきました。鉢植えのチューリップの芽や、桜の蕾が大きくなって、飛躍の春の到来を感じる今日この頃です。

先日の授業参観、懇談会には、多くの皆さまにお越し頂き、ありがとうございました。1年間の子どもたちの成長をご覧いただけたことと思います。一日一日では気づかなくても、1年間を振り返ると、体も心もずいぶん成長していることに驚かれたのではないのでしょうか。できるようになったことをほめ、次への意欲につなげていただきたいと思います。

さて、今年度、学校に2枚の感謝状が届きました。1枚は、「人権の花運動の推進」に対して、もう1枚は「契沖顕彰短歌大会に学校をあげて取り組んだ事」に対して頂きました。子どもたちは、この1年間を通して、身長も体重も一回りも二回りも大きくなり、時には頼もしく、時には優しさあふれる態度で、心豊かに成長しました。教室や廊下には言語活動を通して作った作品がはってあります。今週行われた音読集会では、北原白秋作『お祭』の詩の群読がありました。1年生から6年生までが力いっぱい音読し、体育館が揺れ動くような見事な声の調和に感動が広がりました。校内スピーチ大会や児童会選挙の時には、登壇者も聞く側の人も、しっかりと相手の思いを受け止め、言葉のキャッチボールができていました。「ペンが剣よりも強し」と言う言葉があります。武力は人を傷つけることがあっても、人の心まで動かすことはできません。本当に強いのは、ペンの力であり、言葉の力です。今後も教育環境を整備し、学びに向かう力の育成に取り組みます。そして、未来を担う子ども達には、言葉の力で、命を大切に作る心、平和の心を世界に伝え、広げていってほしいと思います。先月、教育活動として、5・6年生が、『盆点前』の授業をうけ、茶の湯を学びました。お茶を点てる事と、点てたお茶をいただく事の両方を体験し、伝統文化を学ぶ貴重な体験をしました。

いよいよ、まとめの月になりました。6年生はあと2週間ほどで卒業です。4月からの新しい出会いを大切に、明るい夢と希望をもって、それぞれの未来に向かって大きく羽ばたいていって欲しいと切に願っています。そして1年生から5年生も、残された日々が充実した学びの時期になるよう、教育活動に精励してまいります。最後になりましたが、保護者、地域の皆さまには、1年間本校の教育活動に心強いご支援ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。またPTA役員の皆様には、諸行事の折りに大変お世話になり、ありがとうございました。来年度も職員一同、全力で教育活動を推進してまいります。ご理解とご支援の程、よろしく願いいたします。

〈契沖顕彰短歌大会 入賞した本校児童の作品の一部を紹介します〉

せんせいのせなかにちようがとまったよりぼんみたいでとてもかわいい (兵庫県知事賞)

弟となかよくならび帰り道うしろをみればかげもなかよし (兵庫県議会議長賞)

じてん車でおもいさかみちのぼったら川からの風わたしをつつむ (尼崎市議会議長賞)

やきいもがほくほくしてておいしいなだけどおならしちやってはずかしいな (尼崎文化協会会長賞)